

平成 28 年度

2017

Nishi-Nippon Financial Holdings

地域密着型金融の取組み実績



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス



西日本シティ銀行



長崎銀行

CONTENTS

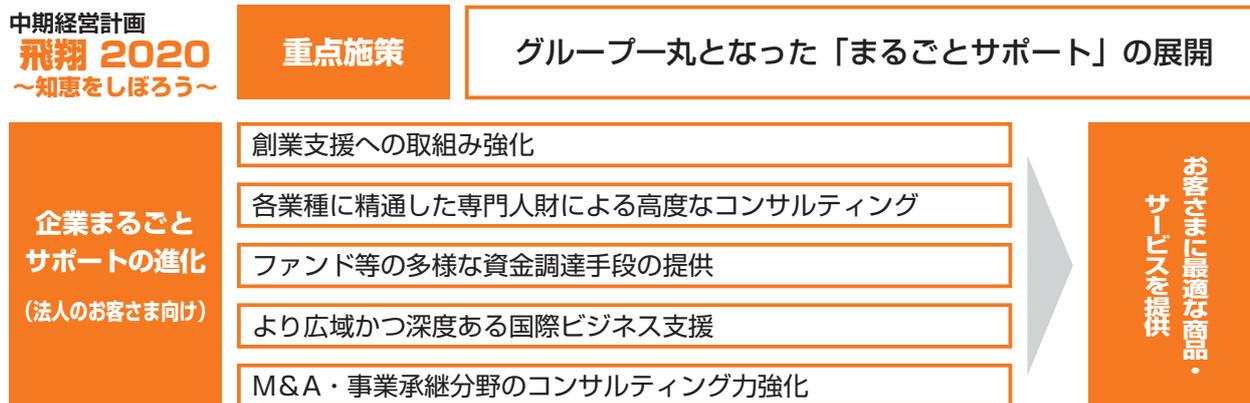
金融仲介機能の発揮に向けた取組み	2
ライフステージに応じたソリューションの提供	2
創業期のお客さまの支援	3
成長期・安定期のお客さまの支援	3
低迷期・再生期のお客さまの支援	5
事業性評価及び担保・保証に過度に依存しない融資への取組み	6
地域の活性化に関する取組み	8
地域の活性化に関する取組み	8
CSRへの取組み	9
地域・社会貢献活動への積極的な取組み	9

ライフステージに応じたソリューションの提供

当社グループは、長い歴史の中で、お客さまのライフステージにあわせて、融資のみならず多面的な支援を行い、地元産業の育成・企業振興に取り組んできました。

新たに策定した中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしばろう～」においても、「地域の発展なくして西日本フィナンシャルホールディングスグループの発展なし」との信念の下、「企業まるごとサポート」をコンセプトに、創業期、成長期などのライフステージに応じたサポートや、成長ビジネス分野のサポートに努めています。

これからも、当社グループの「良きDNA」を継承・発展させ、グループ一丸となって地元産業の発展に資するさまざまな支援に取り組めます。



【ライフステージ（注）別の与信先数及び融資残高（29年3月末）】

西日本シティ銀行						
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数（先）	40,672	3,568	2,142	13,801	1,330	4,643
融資残高（億円）	48,123	3,524	4,858	21,431	1,245	9,041

長崎銀行						
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数（先）	2,797	137	138	1,081	59	295
融資残高（億円）	749	39	57	473	12	67

（注）ライフステージの定義
 創業期：創業から5年以内 成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超 安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%～120%
 低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満 再生期：貸付条件の変更又は延滞がある期間
 5期分の決算データ等がない先は、除いています。

【地域別の与信先数（29年3月末）】

西日本シティ銀行					単位：先
	全与信先	福岡県	九州 (福岡県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数	40,672	34,482	4,653	458	1,079

長崎銀行					単位：先
	全与信先	長崎県	九州 (長崎県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数	2,797	2,476	302	11	8

創業期のお客さまの支援

創業、新規事業開拓を目指すお客さまに対しては、融資や企業育成ファンドへの出資等を通じて事業立ち上げ時の資金需要やコンサルティングニーズに対応しているほか、補助金や制度融資の紹介など情報面での支援や、地元大学、公的金融機関、地方公共団体など、外部機関との連携による新たな技術の製品化・商品化の支援などを行っています。

また、金融機関に求められる起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援を実現し地域産業の育成を図る観点から、当社グループでは、外部機関やグループ各社との提携、連携を通じて創業支援への取組みを強化しています。

■ 創業支援への取組み強化

当社グループの西日本シティ銀行では、融資だけでなく、「NCB創業応援サロン〔注1〕」や創業カウンセラー〔注2〕を配置した「ビジネスサポートセンター」において、創業前の事業計画の策定から創業時の資金調達、創業後の経営相談に至るまでの相談受付態勢を構築しています。

〔注1〕 NCB創業応援サロン

九州最大の商業地である天神地区に設置。ご相談だけでなく、起業家同士が相互に交流し情報交換を図る場を提供しています。

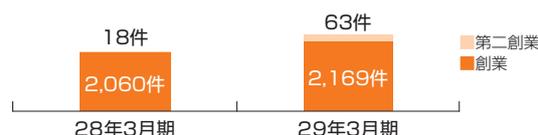
〔注2〕 創業カウンセラー

創業支援に係る行内の専門スタッフ。現在20名を配置しています（29年3月末）。

【関与した創業・第二創業〔注3〕の件数】

単位：件

	28年3月期		29年3月期	
	西日本シティ銀行	長崎銀行	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業	2,038	22	2,151	18
第二創業	18	0	63	0



〔注3〕 第二創業の定義

- ・既に事業を営んでいる企業の後継者等による新規事業の開始
- ・既存の事業を譲渡（承継）した経営者等による新規事業の開始
- ・抜本的な事業再生による業種を変えて再建

【創業支援先数（支援内容別）（29年3月期）】

単位：先

	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業計画の策定支援	588	0
創業期〔注4〕の取引先への融資（プロパー）	782	0
創業期への取引先への融資（信用保証付）	1,089	18
政府系金融機関や創業支援機関の紹介	95	2
ベンチャー企業への助成金・融資・投資	7	0

〔注4〕 創業期の定義：創業から5年以内

成長期・安定期のお客さまの支援

事業のさらなる成長を目指すお客さまに対しては、地方公共団体や他の金融機関等との共催による国内商談会の開催や上海や香港など国外での商談会の開催等によるビジネスマッチング、海外金融機関や外部専門家等との連携による海外進出支援、コンサルティングに基づく成長阻害要因の特定とその課題解決提案等により、販路拡大や新たな事業展開等へのサポートを行っています。

■ 各業種に精通した専門人財による高度なコンサルティング

西日本シティ銀行法人ソリューション部の医療・農業等の各分野に精通した専門人財によるコンサルティングサービスの提供、NCBリサーチ&コンサルティングの各種ビジネスセミナーの開催等により、お客さまの経営課題にベストのソリューションを提供しています。

【ソリューション提案先数（29年3月末）】

単位：先

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①	40,672	2,797
ソリューション提案先〔注〕②	5,810	28
割合（②/①）	14.3%	1.0%

〔注〕ソリューション提案先

29年3月期中に、お客さまの本業支援等の提案を行った先

【ソリューション提案先の融資残高（29年3月末）】

単位：億円

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先①	48,123	749
ソリューション提案先②	6,395	5
割合（②／①）	13.3%	0.7%

【ビジネスマッチングの成約件数（29年3月期）】

単位：件

	西日本シティ銀行	長崎銀行
成約件数	1,296	18

■ ファンド等の多様な資金調達手段の提供

当社グループは、創業・新規事業支援、6次産業化支援〔注1〕、シーズ産業化支援〔注2〕、経営改善・事業再生支援等目的別のさまざまなファンドに出資しており、金融機関の本業である貸出のほか、これらのファンドも活用しながら、地域の企業の成長を金融面から支援しています。

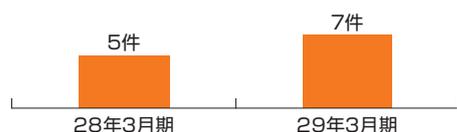
〔注1〕 NCB6次化応援ファンド

九州における1次産業者と2次・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンド。これまで合計10件687百万円の投資を決定（地方銀行ではトップの実績）。

〔注2〕 QB第一号ファンド

九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営する、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州地域活性化を目的としたファンド。

【ファンドの活用件数〔注3〕】



〔注3〕 活用件数
西日本シティ銀行が出資する各種ファンドの期中における投資件数

■ より広域かつ深度ある国際ビジネス支援

当社グループは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の企業や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を超えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。海外提携金融機関や横浜銀行とも連携をしながら海外拠点を活用し、グループ各社の連携をさらに強化することによって、より広域かつ深度ある国際ビジネス支援を提供しています。

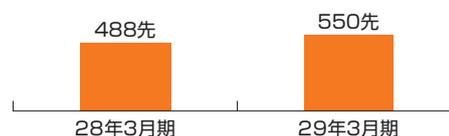
豊富な国際ビジネス支援態勢	
西日本シティ銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●国際部/国際ビジネス支援室 →専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる国際ビジネス支援 ●ワールド・ビジネス・スクエア（WBS） →外国送金、信用状取引といった外国為替取引を含め海外ビジネスをトータルにサポート ●NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約 →インターネットによる外国送金、輸入信用状の申込・照会などの幅広い外為取引
NCBリサーチ&コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> ●国際コンサル室 →国際経験豊かなスタッフによる海外提携金融機関・弁護士・保険会社等とも連携したきめ細かな海外進出支援 ●「アジアへの扉」（ウェブサイト及びテレビ番組） →きめ細かな情報発信 ●アジアビジネスセミナー →国際ビジネスに関する各種セミナーの開催
九州カード	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なクレジットブランド →VISA、Master、JCB、AMEX、銀聯、シンハンカードを基軸としたフルブランド展開



【西日本シティ銀行の主な取組み】

時期	内容
28年9月	横浜銀行と「海外ビジネス支援業務における基本合意書」を締結
29年3月	シンガポール駐在員事務所を開設
29年5月	東南アジア最大の銀行であるDBS銀行と「業務提携に関する覚書」を締結

【西日本シティ銀行の海外進出支援及び海外ビジネス支援の取組み先数】



低迷期・再生期のお客さまの支援

経営改善、事業再生等が必要なお客さまに対しては、中小企業金融円滑化法に基づき、企業再生支援機構や中小企業再生支援協議会、整理回収機構等の外部機関とも連携しながら、経営再建計画策定支援や貸付条件の変更等の対応を行っています。

【貸付条件の変更の申込みを受けた貸付債権の数（21年12月4日からの累積件数）】

		27年6月末	27年9月末	28年3月末	28年9月末	29年3月末
中小企業者	債権数	32,750	33,900	36,235	38,628	41,045
住宅ローン借入者	債権数	2,632	2,673	2,751	2,931	2,998

		27年6月末	27年9月末	28年3月末	28年9月末	29年3月末
中小企業者	債権数	2,151	2,205	2,324	2,480	2,599
住宅ローン借入者	債権数	247	252	262	272	276

【経営改善支援取組み先のうち債権者区分がランクアップした先、経営改善計画を策定した先数（29年3月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
期初債務者数	39,765	2,792
経営改善支援取組み先 (経営改善支援等取組み率)	732 (1.8%)	128 (4.6%)
うち期末に債務者区分がランクアップした先 (ランクアップ率)	55 (7.5%)	7 (5.5%)
うち再生計画を策定した先〔注1〕 (再生計画策定率)	436 (59.6%)	103 (80.5%)

〔注1〕「経営改善計画を策定した先」とは「実現可能性の高い抜本的な経営再建計画」を策定していることにより、その他要注意先としている先。

【貸付条件の変更を行っている中小企業のお客さまの経営改善計画の進捗状況〔注2〕（29年3月末）】

	総数	進捗状況		
		好調先	順調先	不調先〔注3〕
西日本シティ銀行	2,118	20	318	1,780
長崎銀行	263	26	69	168

〔注2〕 好調先：経営改善計画における売上高の進捗状況が120%超 順調先：同80%～120% 不調先：同80%未満

〔注3〕 経営改善計画の策定のない先は不調先を含む

【中小企業再生支援協議会への相談持込先数（29年3月期）】

	先数
西日本シティ銀行	7
長崎銀行	2

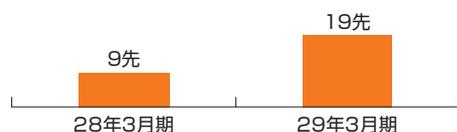
【中小企業再生支援協議会の経営改善計画策定先数（29年3月期）】

	先数
西日本シティ銀行	10
長崎銀行	6

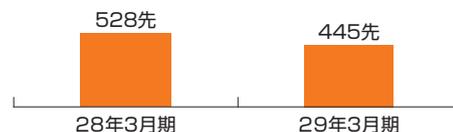
M&A・事業承継分野のコンサルティング力強化

西日本シティ銀行プライベートバンキング部、法人ソリューション部及びNCBリサーチ&コンサルティング事業コンサル部において、当社グループ全体のお客さまニーズを把握し、外部機関とも連携しながら円滑なM&A・事業承継をお手伝いしています。

【西日本シティ銀行のM&A支援先数〔注〕】



【西日本シティ銀行の事業承継支援先数】



〔注〕 NCBリサーチ&コンサルティングによる支援先を含む。

事業性評価及び担保・保証に過度に依存しない融資への取組み

当社グループは、従来から地域金融の円滑化を図ることが社会的責任を果たすうえでもっとも重要な役割と捉え、中小企業のお客さまの経営支援の強化に積極的に対応しています。

今後も、資金供給者としての役割にとどまらず、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対して、グループ一丸となった「企業まるごとサポート」を展開することにより、お客さまに選ばれる「総合金融グループ」を目指します。特に中小企業のお客さまに対しては、事業の内容や成長可能性を適切に評価する「事業性評価」を実践することにより、経営課題の解決・事業価値の向上に積極的に取り組めます。

【事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額（29年3月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
先数（先） （全融資先に占める割合）	1,359 (3.3%)	127 (4.5%)
融資残高（億円） （全融資先の融資残高に占める割合）	16,867 (35.0%)	149 (19.9%)

【メイン取引先の状況（29年3月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
メイン取引先〔注1〕数（先）	15,657	1,517
メイン取引先の融資残高（億円）	24,188	462
メイン取引先のうち経営指標等〔注2〕が改善した先数（先）	9,837	921

【メイン取引先のうち経営指標等が改善した先の融資残高の推移】



■ 動産・債権譲渡担保融資の取組み

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資として、動産・債権担保融資（ABL）〔注1〕にも取り組んでいます。さらに、銀行及びそのグループ各社を含む民間の投資会社等が組成する企業再生ファンド〔注2〕への出資を通じ、再生に取り組むお客さまの支援を行っています。

〔注1〕 借り手の事業活動そのものに着目し、商品在庫、原材料、機械設備等の動産や売掛債権を担保に資金を貸し出す仕組み。
〔注2〕 過剰債務に陥った企業の立て直しを目的に、投資家から資金を集め、再生ビジネスに関与するファンドのこと。

【動産・債権担保融資（ABL）の実績（29年3月末）】

	西日本シティ銀行		
	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	42	18	24
融資残高（億円）	51.3	3.8	47.5
融資枠設定額（億円）	95.6	3.9	91.7

長崎銀行

	長崎銀行		
	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	28	2	26
融資残高（億円）	11.9	0.48	11.4
融資枠設定額（億円）	0.58	0.58	0

■「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当社グループでは、お客さまと保証契約を締結する場合、お客さまから既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合、お客さまから保証債務の整理のお申し出があった場合には、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応するよう努めています。

【「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組状況（29年3月末）】

単位：件

	西日本シティ銀行	長崎銀行
新規に無保証で融資した件数	7,055	387
新規融資件数	30,704	1,543
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数	0	3
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	23.0%	25.3%
保証契約を変更した件数	1	2
保証契約を解除した件数	683	7
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1	1
うち、メイン行としての成立件数	1	0

経営者保証に関するガイドライン

- ・「経営者保証に関するガイドライン」とは、経営者保証（中小企業の経営者などによる個人保証）において合理性が認められる保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うためのルールとして、平成25年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表したものです。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」には、中小企業等の経営者の皆様が金融機関と保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における自主的なルールが定められています。

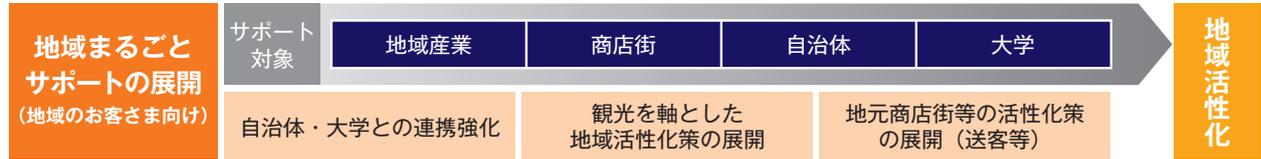
【経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先に占める割合（29年3月末）】

単位：先

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先数①	40,672	2,797
ガイドライン活用先数②	5,928	332
割合 ②／①	14.6%	11.9%

地域の活性化に関する取組み

当社グループは、地方自治体や大学等と連携し、地方創生や地域の面的再生への積極的な取組みを行う「地域まるごとサポート」を展開することにより、地域経済の活性化、地域との共栄、地域社会づくりに貢献します。



■ 包括協定締結先 (西日本シティ銀行)

地方公共団体との間で「地方創生に関する包括協定」を締結し、密接な連携を図っています。
(締結順)

	自治体名	締結日		自治体名	締結日		自治体名	締結日
①	福津市	平成27年6月15日	⑥	みやこ町	平成27年12月24日	⑩	那珂川町	平成28年3月10日
②	須恵町	平成27年8月6日	⑦	久留米市	平成28年2月12日	⑪	田川市	平成28年10月27日
③	中間市	平成27年12月18日	⑧	日田市	平成28年2月12日	⑫	唐津市	平成28年10月28日
④	福智町	平成27年12月21日	⑨	糸田町	平成28年2月24日	⑬	鳥栖市	平成28年11月21日
⑤	福岡県	平成27年12月22日						

■ 地域応援私募債の取扱開始 (西日本シティ銀行)

平成29年2月より、九州地域の未来を担う子どもたちの学びや成長を支援するため、西日本シティ銀行が寄付金を拠出し、地域の学校などへ図書やスポーツ用品等の物品を寄贈する機能がついた『地域応援私募債「つなぐココロ」』の取扱いを開始しました。



<仕組み>



■ 直近の取組内容 (西日本シティ銀行)

- 平成28年9月5日より、福岡県内の市町村作成の広報VTRを、西日本シティ銀行の営業店内に設置しているインフォメーションボード（186店うち県外25店）にて放映を開始しました。
- 平成28年12月5日に、西日本シティ銀行と「地方創生に関する包括協定」の締結先の中間市・那珂川町・みやこ町との共催で、地元の名産品をPRし、地方公共団体の知名度向上を図ることを目的とした「地方創生応援 観光・物産展」を福岡市役所前のイベントスペースで開催しました。
- 平成29年4月7日に、北九州市内に事業所を持つ企業の生産性向上と、市内在住の障がい者就労支援を目的に、北九州市及びSansan株式会社との間で三社間協定を締結しました。
- 平成29年4月22日に、「地方創生に関する包括協定」締結先の中間市の総合戦略の実現のため、同市で開催された「JR九州ウォーキング」に協力し、同市の観光振興・地域PRに取り組みました。
- 平成29年4月28日に、読書を通じた良好な親子関係の構築や子供の育成、ひいては地域の活性化に資するべく、「地方創生に関する包括協定」締結先の福智町の小中学校に通う生徒に図書館で利用する「読書通帳」を贈呈しました。読書通帳とは、図書館に設置している、銀行のATMのような専用端末に「読書通帳」を通すと、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録することができるものです。
- 平成29年5月16日に、宗像市及び宗像市商工会と連携し、同市の総合戦略の実現のため、応援ファンドを活用する事業者の事業計画策定支援などを盛り込んだ「宗像応援ファンドに係る連携及び協力に関する基本協定書」を締結しました。
- 平成29年5月30日に、糸島市・国立大学法人九州大学・セトル株式会社と連携し、九州大学伊都キャンパス周辺地域の国際化や地域振興にともに取り組みすることを目的として、「地域の国際化に関する協定」を締結しました。



福智町に読書通帳を贈呈



宗像応援ファンドに係る締結



糸島九大地域の国際化に関する協定

地域・社会貢献活動への積極的な取組み

当社グループは、地域に根ざした企業市民として、地域のため、社会のためにできることを考え、積極的かつ継続的に取り組んでいます。

■ 地域社会への知的貢献

— 「新春経済講演会」の開催 —

最新の金融・経済情報を、企業経営や景気の見通しのご参考にしていただくため、平成20年より「新春経済講演会」を開催しています。平成29年1月に開催した講演では、第10回開催を記念して、恒例の久保田会長による経済講演会に加え、「海外ビジネス成功への条件～アメリカ・ヨーロッパ・東南アジア・中国～」と題した、有識者によるパネルディスカッションも開催しました。



新春経済講演会（久保田会長）



有識者によるパネルディスカッション

■ パネリスト

渡辺 博史 氏（公益財団法人 国際通貨研究所 理事長）
津田 純嗣 氏（株式会社 安川電機 代表取締役会長）
久保田 勇夫（西日本FHI 会長・西日本シティ銀行 会長）

■ コーディネーター

岩本 誠也 氏（株式会社 西日本新聞社 編集局 経済部長）
※役職名などは開催時のものです。

— 小学生向け「金融リテラシー教育」の実施 —

西日本シティ銀行と長崎銀行では、次世代を担う若い世代に「金融リテラシー教育」を継続的に行っています。

西日本シティ銀行では、平成28年8月に、福岡国際センターで開催されたイベント「ママキッズフェスタ in FUKUOKA」のブースにおいて、小学3年生～6年生を対象に、お金の役割や銀行のしくみを学ぶ「第10回お金のがっこう」を開催し、制服を着ての窓口体験や写真撮影、1億円の重さ体験などを行いました。本イベントには2日間で、1万2,000人以上が来場され、西日本シティ銀行のブースは、およそ500名の親子連れで賑わいました。また、小中学生を対象とした福岡市主催のイベント「こどもがつくるまちミニふくおか」で、お金に関するセミナーを開催したほか、営業店においても銀行見学、親の職場体験などを行いました。

また、長崎銀行では、平成28年8月に「ながさきサマースクール～お金のがっこう～」を開催し、小学校5・6年生とその保護者7組が参加されました。小学生には、窓口体験等を通じて銀行のしくみやお金の大切さについて、一方、保護者の皆さまには「金融セミナー」を通じてライフプランニングについて講義を行いました。



お金のがっこう（西日本シティ銀行）



窓口体験（長崎銀行）

— 大学生向け「金融講座」の実施 —

西日本シティ銀行の役職員が講師となり、大学生向けに金融に関する講義を継続的に行っています。平成28年10月～11月には西南学院大学の2・3年生を対象に「実践仕事塾～金融スペシャリスト育成講座～」を5回シリーズで開催し、また、同年11月には、福岡大学の全学年の学生を対象に「金融業界研究セミナー」を3回シリーズで開催しました。また、平成29年6月には、中村学園大学、筑紫女学園大学でも「金融講座」を開催しました。

— 地域への教育、文化等の向上に向けた取組み —

長崎銀行と公益財団法人長崎銀行奨学育成基金は、長崎県内地域における教育、文化等の振興を図ることを目的とし、長崎県出身者の学生に対する奨学助成や、教育文化活動の奨励及び助成を行っています。また、地域文化の向上を目的として、昭和57年から長崎市立図書館や長崎県立図書館へ図書の新着寄贈を行っています。

■ 環境問題への取組み

— 「環境美化活動」への取組み —

当社グループでは、地域の環境美化をお手伝いする清掃ボランティア活動を継続的に実施しています。西日本シティ銀行の各営業店では、店舗の周辺や地元商店街などを清掃、本店では当社グループの職員が、JR博多駅周辺などを地域の皆さまと一緒に清掃しています。また、長崎銀行でも、各営業店周辺のクリーンアップ活動を行っています。



博多地区周辺清掃



長崎市眼鏡橋周辺清掃

— その他の取組み —

西日本シティ銀行は、北九州市が新成長戦略に掲げる「環境産業・自動車関連産業の振興」の一環として取り組む「古着リサイクル事業」（古着を自動車のエンジンルームなどで使う防音剤に再生する取組み）に対し、不要になった制服を同事業に寄付しています。また、店舗の建替えにあたっては、環境配置型機能（太陽光発電システム、LED照明、エコガラス、雨水再利用等）を備えた「エコ店舗」への転換を行っています。

長崎銀行は、平成27年より、毎年2月から5月に「ながさきエコ定期預金」の取扱いを行い、預け入れ総額に応じた寄付金1,830,882円（過去2回の寄付合計金額）を「緑の募金（公益社団法人長崎県緑化推進協会）」に寄付しました。また、本支店の窓口に「緑の募金箱」を設置したほか、行員やその家族が森林整備のボランティアに参加し、長崎県の緑化保全活動に取り組んでいます。

■ 地域との共栄

当社グループは、年末の福博の街を音楽で活気づけることを目的に、平成28年12月、西日本FH設立記念「NCB音楽祭～歓喜と喝采・青い地球は誰のもの～」を開催しました。この音楽祭では、九州交響楽団など地元九州にゆかりのある一流の音楽家を招き、行職員と市民の皆さまとの混声合唱団による「第九」合唱やバレエ・ダンスなど多彩な音楽芸術を繰り広げました。そのほか、各地域で開催される行事やお祭りに積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っています。



NCB音楽祭



博多どんたく港まつり



長崎ランタンフェスティバル

■ 地域の優れた経営者、アジアとの国際交流に貢献している団体・個人への支援

公益財団法人経営者顕彰財団では、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年表彰（経営者賞）しています。昭和48年の開始以来、受賞者は162名にのぼり、受賞者の中には、その後、上場企業に成長された企業の経営者も多く、この賞が地元企業の方々の大きな励みとなっています。

また、公益財団法人西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を毎年表彰（アジア貢献賞）しています。併せて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際友好親善に貢献している小・中学校、こども団体等の表彰（アジアkids大賞）も行っています。



経営者賞受賞者の皆さま



アジア貢献賞受賞者の皆さま



アジアkids大賞受賞者の皆さま

■ 歴史・文化活動への取組み

西日本シティ銀行が、昭和54年より発行している「博多に強くなろう」、「北九州に強くなろう」は通算99号になり、最新号（99号）では、小倉藩「豪商と大庄屋の日記」を取り上げています。また、平成21年創刊の「九州流」は、新しい視点でふるさとを見直し、地元九州の文化向上に寄与することを目的として発行しています。最新号（5号）では、古代伊都国をテーマにした「絹に訊け 古代日本史の舞台は福岡だった」などを取り上げています。

また、公益財団法人福岡文化財団は、伝統行事として地域で継承されている「神楽」や「神舞」を一般の皆さまに紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を開催したほか、毎月1回、お昼休みのクラシック演奏会「プロムナードコンサート」を開催しており、平成29年3月には375回を数えました。



九州流



北九州に強くなろう



「日本の神様と舞い踊ろう」



プロムナードコンサート

■ TV番組の提供

西日本シティ銀行は、地元TV局と共同でTV番組を制作し、地域の歴史、文化、地元企業の“元気”を地域の皆さまに紹介しています。



アジアへの扉

毎週日曜日午後5時25分よりTNCテレビ西日本にて放映中
地元九州からアジアビジネスにチャレンジした企業の経緯や特色などを紹介し、グローバル展開のヒントを提供します。これまでの紹介企業は200社を超えています。



志、情熱企業

毎週土曜日午後6時50分よりRKB毎日放送にて放映中
未来に飛躍する地元企業の志と情熱を応援する企業紹介番組です。これまでの紹介企業は400社を超えています。



温故知新「発見！九州スピリット」

毎週土曜日午後10時59分よりKBC九州朝日放送にて放映中
進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、以外に知られていない人物、出来事、祭りなどの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。



西日本フィナンシャルホールディングス